

第46回中央委員会

「郡山りょう」 必勝へ向けて 議案全て確認



安河内会長のガンバロウ三唱

「JAM一致団結して 『郡山りょう』 必勝に向けて 団結してガンバリよう!!」

JAMは 2026・2027 年度運動方針骨子、2026 年度予算骨子、7月の参議院選挙「郡山りょう」必勝へ向けての取り組み、2025 年春季生活闘争中間総括などを決める第 46 回中央委員会を5月23日に東京・連合会館で開催した。

一般活動報告、会計中間決算・監査報告と5本の議案それぞれ満場一致・賛成多数で確認した。

安河内賢弘JAM会長は「2025 年春季生活闘争は、3年連続でJAM結成以来最高のベースアップ獲得となったが、昨年に引き続き中小と大手との企業規模間格差はさらに拡大した。JAMは社会を構成する最大のステークホルダーである労働者の代表として正面から社会変革を訴え続けなければならない。その代弁者として「郡山りょう」が必要である。7月の参議院選挙まで残された期間は僅かである。勝利は手の届くところまで来ている。選挙は「どれだけ勝ちたいかという思い」がより強い陣営が勝つ。皆さんの熱いおもいを実現するために、もう一度職場に入って『郡山りょう』の名前を浸透させる声かけ活動を徹底

してほしい」などと力強くあいさつした。

来賓の基幹労連・津村正男中央執行委員長、JAM 組織内議員・おおたけりえ衆議院議員、準組織内議員・森本真治参議院議員、同村田享子参議院と郡山りょう候補予定者からあいさつを受けた。

中央委員、役員・地方書記長・傍聴など総勢226人が参加。

中央委員会終了後は、「郡山りょう総決起集会」が開催（Web併用）された。



現場の声を届けるパイプ役になりたいと訴える
「郡山りょう」JAM組織内候補予定者